

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ) ソウカダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) サクマゼミ
創価大学	経営学部	佐久間ゼミ

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ) チームツナグ	フリガナ) モリグチカナ	6人	無
チームつなぐ	森口佳那		

研究テーマ（発表タイトル）
食で繋がる地域密着型プロジェクト in 八王子

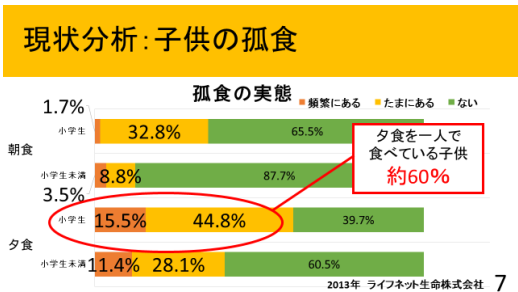
※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

インナー大会に参加するにあたり、私たちは自分たちの大学がある八王子の地域活性化に貢献できることをしたいと考えた。テーマ設定を考えていたところ、チームメンバーの1人がテレビのニュースで孤食が問題になっていることを知った。そこで、私たちは地域を巻き込み、孤食を減らしたいとの思いで、このプロジェクトを提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

孤食とは、1人で食事をとることで孤独を感じるさみしい食事のことを指す。現在10代前半における孤食の割合は、非常に高い。しかし、独自で八王子在住の学生から高齢者の方を対象としたアンケートをとったところ、半数以上の人が、この現状を問題視していないことがわかった。



3. 研究テーマの課題

孤食は、身体に影響がでるのはもちろん、コミュニケーション能力の低下、食事のマナー、心の発達などにも悪影響を及ぼす。さらに最悪の場合は、孤食を繰り返すことによって、少年犯罪に発展することもある。しかし、「2. 現状分析」でも取り上げた通り、あまり問題視している人は少ない。また、孤食についての対策として、各地でこども食堂を開催しているが、こども食堂は貧困というイメージが根付いてしまっている。実際に子供が参加したことにより、親から暴力を振られたという事件が発生したこともある。八王子のある学童長さんからは、子供食堂や、孤食の現状を話した結果、「色眼鏡で見られないようなイベントを開催してほしい」と

の意見を頂いた。以上の事が、私達の研究テーマの課題である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私達は、「孤食の削減」を最終的な課題と設定した。その課題を解決するために、短期・中期・長期の三段階にそれぞれ目標を設定した。具体的には、短期的目標では「認知拡大・意識向上」を促進するために、こども食堂とは違ったアプローチで、孤食の問題と、共食の大切さを感じてもらおう食育イベントの継続的な開催を目指す。次に中期的目標では「地域の輪の拡大」を達成する為に、開催地域と開催頻度を増やす事を目指す。そして、開催地域を拡大しつつ、継続的な開催を行う事により最終的目標である「孤食の削減」を達成できると考えた。以上が私達の考える孤食の解決策である。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

イベント開催にあたり、食材提供のお願いをするため、FIO、JunkunFarm、小林養鶏所に実際に足を運び、連絡を取った。参加者を募るために、横山第一学童保育所、檜原小学童保育所、子安第六小学校にて、チラシを置かせてもらい、ご協力いただいた。実際に、子安第六小学校では教頭先生に許可を頂き、手渡しでチラシを配布した。高齢者に関しては、八王子高齢者いきいき課、八王子センター元気の方にご協力を頂いた。また、八王子センター元気の定例会に参加し、イベントの宣伝や参加できる方を直に募った。データの収集については、八王子在住の方に街頭アンケートや SNS、紙媒体などを用いてアンケートを取った。

6. 結果や今後の取り組み

結果として、イベント参加者にもアンケートを取り、次回にもつながるような意見をいただいた。そのため、今回のイベントを成功ととらえ、また改善すべきところは改善し、今後に繋げていく。具体的な今後の取り組みとしては、大規模な開催が必要であるため、告知方法を工夫して、人数を拡大していくという課題に向けて、サークルを開設し、寄付金を募っていく。活動の中で、開催頻度や開催地域を増やしていき、多くの参加者の孤食への意識を高めていく。このイベントを継続していくことで、地域の輪を広げていき、最終的に孤食の削減へとつなげていく。

7. 参考文献

・ライフネット生命（2013年11月7日）「オトナの食育に関する調査」

<http://www.lifenet-seimei.co.jp/newsrelease/2013/5100.html#anchor4>（閲覧 2016年9月15日）

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。